



令和元年 7 月吉日

NPO 法人ジャパン・タスクフォース
理事長 早川 好美

ロープ高所作業・フルハーネス型墜落制止用器具特別教育開催のご案内

ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今年度のロープ高所・フルハーネス型墜落制止用器具作業特別教育を開催させて頂く運びとなりましたので下記のとおり、ご案内させていただきます。

皆様お誘い合わせのうえご参加お待ちしております。

記

1、日 時

ロープ高所作業特別教育 令和元年 11 月 12 日 (火)

受付 9:45 終了予定 18 時 00 分頃

フルハーネス型墜落制止用器具特別教育 令和元年 11 月 13 日 (水)

受付 9:45 終了予定 17 時 00 分頃

2、場 所 新潟県柏崎市内で調整しています。

※場所が確定しましたら別途お知らせいたします。

3、参加申込み

(1) 申し込み開始日時 専用フォームで随時 (締め切り 10 月 12 日 17 時)

(2) 定員: 各日 30 名

(3) 参加フォーム URL

ロープ高所作業特別教育: <https://pro.form-mailer.jp/fms/7aaaa200167588>

フルハーネス型墜落制止用器具: <https://pro.form-mailer.jp/fms/33e88e73109406>

※特別教育修了カードを発行いたしますので、「氏名、生年月日」はお間違いないように入力ください。

4、参加費用 (1 日分)

(1) JTF 会員様: 7,800 円 非会員様: 11,500 円

(2) 傷害保険代 (別途): 300 円 (両日参加される方も 300 円となります。)

(3) 施設使用料 300 円 (参加人数及び施設使用料により多少変動します。)

※両日参加される場合は 2 日分の参加費用が必要です。

5、準備資機材

- (1) 作業用手袋（ケブラー手袋、皮手袋は問いません。）
 - (2) 墜落制止用器具（お持ちの方は、ハーネス及びランヤード）
 - (3) 軽作業のできる服装（ヘルメットも持参してください。）
- ※2日ともクラスルームでの資機材取り扱い等の実技が中心となります。

6、ロープ高所作業特別教育科目表（7時間）

| 教育科目 | | 内容 | 時間 |
|------|---|---|-----|
| 学科教育 | 1 ロープ高所作業に関する知識 | ・ロープ高所作業の方法 | 1時間 |
| | 2 メインロープ等に関する知識 | ・メインロープ等の種類、構造、強度、取扱い方法 ・メインロープ等の点検と整備方法 | 1時間 |
| | 3 労働災害の防止に関する知識 | ・墜落による労働災害の防止のための措置 ・安全带、保護帽の使用方法和保守点検の方法 | 1時間 |
| | 4 法令関係 | ・法、令、安衛則内の関係条項 | 1時間 |
| 実技教育 | 1 ロープ高所作業の方法 墜落による労働災害防止のための措置 安全带と保護帽の取り扱い | ・ロープ高所作業の方法 ・墜落による労働災害の防止のための措置 ・安全带と保護帽の取り扱い | 2時間 |
| | 2 メインロープ等の点検 | ・メインロープ等の点検と整備の方法 | 1時間 |

7、フルハーネス型墜落制止用器具特別教育科目表（6時間）

| 学科科目 | 範囲 | 時間 |
|--------------------------------------|--------------------------------------|-------|
| Ⅰ. 作業に関する知識 | ①作業に用いる設備の種類、構造及び取り扱い方法 | 1時間 |
| | ②作業に用いる設備の点検及び整備の方法 | |
| | ③作業の方法 | |
| Ⅱ. 墜落制止用器具（フルハーネス型のものに限る。以下同じ）に関する知識 | ①墜落制止用器具のフルハーネス及びランヤードの種類及び構造 | 2時間 |
| | ②墜落制止用器具のフルハーネスの装着の方法 | |
| | ③墜落制止用器具のランヤードの取り付け設備等への取り付け方法及び選定方法 | |
| | ④墜落制止用器具の点検及び整備の方法 | |
| | ⑤墜落制止用器具の関連器具の使用の方法 | |
| Ⅲ. 労働災害の防止に関する知識 | ①墜落による労働災害の防止のための措置 | 1時間 |
| | ②落下物による危険防止のための措置 | |
| | ③感電防止のための措置 | |
| | ④保護帽の使用方法及び保守点検の方法 | |
| | ⑤事故発生時の措置 | |
| | ⑥その他作業に伴う災害及びその防止方法 | |
| Ⅳ. 関係法令 | 安衛法、案衛令及び案衛則中の関係条項 | 0.5時間 |
| 実技科目 | 範囲 | 時間 |
| Ⅴ. 墜落制止用器具使用方法 | ①墜落制止用器具のフルハーネスの装着方法 | 1.5時間 |
| | ②墜落制止用器具のランヤードの取付け設備等への取付け方法 | |
| | ③墜落による労働災害防止のための措置 | |
| | ④墜落制止用器具の点検及び整備の方法 | |